

「地域医療構想」って何だろう??在宅医療のこれからは??

◆◆三重県の地域医療の現状をお伝えします!◆◆

Q. そもそも「地域医療構想」って?

いわゆる団塊の世代が、75歳以上を迎える2025年を視野に、地域にふさわしいバランスの取れた医療機能の分化・連携を適切に推進するため、2017年3月に「三重県地域医療構想」が策定されました。三重県では、北勢の桑員地域から東紀州まで8つの地域を「地域医療構想区域」として設定され、検討されています。

Q. 三重県ではこの先どれくらいベッド数が削減されるの?

県内各構想区域の医療需要と必要病床数(病院の入院ベッド数)の推計が、4つの医療機能区分(高度急性期・急性期・回復期・慢性期)ごとに色々なデータに基づき検討・策定されています。8つの地域医療構想区域ごとの医療機能区分別の必要病床数は、表(*)を参照ください。全体では、2016年での病床機能報告の16,374床から、2025年の必要病床数推計では13,584床へと2,790床(約2,800)減少の推計となっています。

Q. 三重県の地域医療構想の今後の方針は?

第7次三重県医療計画の策定の中では、“2025年の必要病床数は、あくまでも地域における医療機能の分化・連携を進めるための目安と考えており、この必要病床数をもとに病床を強制的に削減していくという趣旨のものではありません。”と記載されています。

また、「在宅医療の充実」「医療従事者の確保」「医療機能の分化・連携の推進」を中心に必要な取り組みを進めていく必要があります。

*平成37(2025)年の構想区域ごとの必要病床数 (単位:床)

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	計
全県	H37 必要病床数	1,422	4,259	4,378	3,525	—	13,584
	H28 病床機能報告	1,850	8,230	1,754	4,280	260	16,374

資料:三重県「第7次三重県医療計画(最終案)」

お申込み方法

必要事項をご記入の上、下記のいずれかの方法でお申込みください。

■ハガキの場合▶下のハガキをお送りください。

■FAXの場合▶本紙裏面を **FAX:059-225-1088** (三重県保険医協会)宛にお送りください。

■Eメールの場合▶件名を「4月7日参加申し込み」として、

①氏名 ②ふりがな ③電話番号 ④ご希望の会(市民公開講座のみ、シンポジウムのみ、両方)

⑤ご希望の人数をご記入のうえ、**doctor@mie-hok.org**にお送りください。

※商品券の抽選は下のハガキの「自由意見欄」にご記入のうえ、お送りいただいた方が対象となります。

皆様の意見 集約にご協力 ください

参加をご希望の方は、はがきもしくはお電話にてお申込みください。

また、地域医療構想や在宅医療についてのご意見をはがきで集約したいと考えております。

ご意見の一部は4月7日(日)に匿名でご紹介し、三重県の地域医療向上の一助となるよう活用させていただきますので、ぜひご協力をお願いします。

どなたでもご参加いただけます!

4月7日(日)

「三重の地域医療の今とこれから
~住み慣れた街でいつまでも暮らしたい~」
参加申込み票

フリガナ

お名前 (代表者のみ)

電話番号

◇参加をご希望の会に人数をご記入ください◇

市民公開講座 () 名 参加する

シンポジウム () 名 参加する

自由意見欄(※上記に参加されない方でももちろん構いません)
地域医療構想や在宅医療についてのご意見をお聞かせください。どんな些細な事でも結構です。ご協力宜しくお願い致します。
※商品券の抽選は自由意見欄にご記入いただいた方が対象となります※



「自由意見欄」にご記入いただき、最寄りの郵便ポストにご投函ください。抽選で、20名の方に商品券をお送りします。(2019年4月消印有効・6月に抽選を行い、発送をもって発表に代えさせていただきます)
※ご記入いただきました個人情報は、賞品の発送に関してのみ使用致します。

料
金
受
取
人
私
郵
便

津中央局
承認
3365

差出有効期間
2020年8月31
日まで

郵便はがき

5 1 4 8 7 9 0

三重県津市観音寺町429-13
三重県保険医協会
「健康・医療情報」係



お名前(フリガナ)

送付先 〒()-()

電話番号 ()-()-()

◆以下の項目について、よろしければご記入ください。

性別(男性 ・ 女性) 年齢(歳)

ご記入後はミシン目に沿ってはがき状に切り取っていただき、切手を貼らずに最寄りの郵便ポストにご投函ください。また、当協会事務所にご持参いただいても受け付けます。

三重県保険医協会主催 市民公開講座／シンポジウム

三重の地域医療の今とこれから ～住み慣れた街でいつまでも暮らしたい～

2019年

4月7日(日)

13:00～16:00

【場所】

ホテルグリーンパーク津

定員200名様 先着順 参加費無料

市民公開講座

(13:00～13:50)



講師

長友 薫輝 氏

津市立 三重短期大学 生活科学科教授

シンポジウム

(14:00～16:00)



座長

長友 薫輝 氏

津市立 三重短期大学 生活科学科教授

シンポジスト

❶ 島田 晃秀 氏(三重県医療保健部地域医療推進課課長)

「三重県の医療提供体制の整備と
地域包括ケアの取組について」

❷ 竹田 寛 氏(三重県病院協会理事長)

「再編とネットワーク
—地域医療を継続するために求められること—」

❸ 山中 賢治 氏(笹川内科胃腸科クリニック院長)

「訪問診療からみた看取りにおける
多職種連携の現状と課題—四日市地域での取り組み—」

❹ 伊世 利子 氏(明日の地域医療を考える住民の会・あした葉会長)

「地域医療における在宅療養啓発活動」